

## 過去を変える

2024. 8. 7

未来を変える。よく聞くフレーズである。一方、過去を変えるとは、あまり聞かない。きっと、過去を変えることなどできないからであろう。確かに、起こった事実としては、変えることはできない。だが、本当に過去を変えることはできないのだろうか。

確かな理論に基づいているわけではないが、感触として、過去は変えられるように思う。

私は未来がいつか過去を変えるときが来ると思っているんです。いまが充実していなかったら、過去の体験は失敗で終わっていたかもしれない。でも、いまが満たされていたら「あの体験があったから」と言える。

私が言いたいことは、上記のようなことである。とりわけ、消したい過去があるわけではない。数多くの失敗はある。それを、自分のこととして受け止めている。とはいえ、後悔がないわけではない。だからといって、やり直したいと強く思っているわけでもない。それは、常に前を向いているからだと思う。過去を振り返らず、先のことをいつも考えている。今、できること、やるべきことは何か。これから何をやろうか。数年後には、こんなことをしたい。そんなことを考えている。

忙しく、時間に追われているときは、全くといっていいほど、過去を振り返ることはなかった。振り返る機会があるとすれば、文章を書くときぐらいだろうか。ところが、現在は、今までよりは余裕がある。時間ができると、アイデアが浮かぶ。その一方で、余計なことも考えてしまう。その余計なことに、過去の自分というものがある。

何年前のことかは忘れてしまったが、今を充実させることで、過去を輝かせることができることを学んだ。そのとき、妙に納得できたことを覚えている。過去の失敗は、枚挙にいとまがない。それらは、貴重な体験でもある。失敗を糧に生きてきたともいえる。二度と同じような失敗をしないように思っている、また失敗を繰り返すこともあった。人は忘れる動物である。そのことに助けられている。

思い返してみると、今はうまくいっていないなあと思うときは、過去のことも否定しがちになる。過去の事実は変わらない。大事なことは、心のもちようであろう。今を充実させること、自分が輝いていること、未来への希望や目標、夢、あるいは志をもっていることが大切である。今が、未来が、充実していること、そして、そのことによって、過去が変わっていくことが、充実した人生を歩むことになる。今や未来によって過去を変える。そうありたい。